

会 議 録

1 会議名

平成27年度 第2回金谷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 若竹寮の管理運営方法の変更について（答申／通知）（公開）

(2) 地域活動支援事業について（公開）

(3) 第3回地域協議会について（公開）

3 開催日時

平成27年5月27日（水） 午後1時30分から午後6時28分まで

4 開催場所

福祉交流プラザ 2階 第一会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・ 委 員：田村恒夫(会長)、川住健作（副会長）、高宮宏一（副会長）、
石川美恵子、石黒正勝、市村政則、上野 弘、小池茂彦、
高橋敏光、高橋日出男、竹内恵市、樋口泰斗、山口茂幸、
山崎四十四、山下 洋、吉越春男

・ 事務局：南部まちづくりセンター 橋本センター長、槇島係長、小林主事

8 発言の内容

【小林主事】

- ・ 16名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は田村会長が務めることを報告

【田村会長】

- ・ 会議の開会を宣言

・会議録の確認：石川委員、市村委員に依頼

次第2「議題等の確認」について事務局に説明を求める。

【橋本センター長】

資料により説明。

【田村会長】

事務局の説明について質疑を求めるが質疑なし。

続いて報告（1）「諮問事項について」事務局に説明を求める。

【橋本センター長】

当日配布資料No.1により説明。

【田村会長】

質疑を求めるがなし。

続いて、議題（1）「平成27年度地域活動支援事業について」、正副会長は審査に加わることから、事務局に会の進行を求める。

【橋本センター長】

申請状況について、H27申請概要一覧【金谷区】より説明。

審査の流れについて、提案者による事業説明5分以内、質疑応答15分以内、委員による採点5分以内。それぞれの配分時間の1分前にベルを1回、終了時点で2回鳴らす。採点表は、事務局がその都度回収し集計作業を行う。

以上を10回繰り返し、休憩時間含む採点・審査の所要時間は4時間程度。事業の経費でこれは補助対象とすべきではないものがあれば、質疑の中で提案者によく確認する。

事務局の説明について質疑を求めるがなし。

整理No.10 「金谷区（灰塚駐在管内）の交通安全のためのカーブミラー設置事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【橋本センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【市村委員】

1点目、交通安全協会独自で設置を考えたのか。

2点目、直近の会計収支決算ですごい金額が載っているが、間違いではないか。

【橋本センター長】

提案者に回答を求める。

【提案者】

地域活動支援事業が利用できる前は、交通安全協会灰塚支部では一年に1カ所か2カ所設置、1カ所でポールまで立てると7～8万円かかった。交通安全協会から3年ぐらい前までは交付金として7万円位もらっていたが、現在2万円に減額され、厳しい財政事情である。定期預金も年々取り崩しているが、これは緊急に必要な時に使うことになっている。

【橋本センター長】

2点目、表示が桁間違いになっている。事務局の書類作成上の入力ミスのため、千円単位を円単位に訂正をお願いする。

他に質疑を求める。

【川住副会長】

今回、カーブミラー設置の申請件数は何件あったか、また、何名かで選定したと思うがその辺の事情についてはどうか。

【提案者】

3町内、箇所数が5ヶ所、両面の所もあり、全部でミラーが7枚。三役で要望をとり、現地を確認した。中田原町内会長さん自ら指摘あり、そのとおりにした。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【高橋敏光委員】

ただ今の説明では、高齢者と子どもを強調していたが、カーブミラーは元々ドライバー向けのものであり、この説明はいかがなものか。

【橋本センター長】

提案者に回答を求める。

【提案者】

ドライバーは勿論という文言も入っている。中田原のこどもの家から出る十字路で頻繁に子どもの交通事故が起きているとの町内会長の話もあり、ここに付けていただきたいという趣旨で高齢者や子どもをある程度強調した。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【小池委員】

協議先の上越警察署交通課、市防災危機管理課、市道路課とはどんな事前協議をしたのか。

【橋本センター長】

提案者に回答を求める。

【提案者】

市防災危機管理課からは、担当者が申請場所を回り指摘を受けた。警察は概要を説明したのみで、現地で立ち会っていないが、昔の上越新井線、上中田の横断歩道は警察と立ち合い、消えかかっている白線は新潟県警でやるという回答をいただいている。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【樋口委員】

去年もこの提案があり、それで灰塚支部管内は終わったものと思っていた。まだ他に付けたい場所があるが今年はこちらだけに絞ったのか、それともこれで終わりなのか。今後さらに違う場所の話がどんどんくるのか聞きたい。

【橋本センター長】

提案者に回答を求める。

【提案者】

去年は他にも希望はあったが、初めての提案でもあり様子を見た。私自身が回ってみたとところ現時点ではないのではないかと思うが、町内会から設置希望があった場合は、確認し来年以降も申請したい。

【橋本センター長】

他に質疑を求めるがなし。

— 提案者退席 —

採点を委員に依頼。

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.10「金谷区(灰塚駐在管内)の交通安全のためのカーブミラー設置事業」の採点を終了。

続いて整理No.3「小滝牧草Live事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【橋本センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【山崎委員】

事業の目的及び期待する効果の中で、音楽、芸能、芸術活動とあるが、音楽・芸能については分かるが、芸術は絵画や写真、陶芸等いろいろあるが、その中の一つをポイントとして取り上げるのか。また、それをどのように表現したいのか。

【橋本センター長】

提案者に回答を求める。

【提案者】

今年度、現段階で実施するかはっきりしないが、一緒にイベントを考えている仲間に木工、絵画等をやっているものがあり、将来的にはクラフト展のようなものもできたらと考えている。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【高橋日出男委員】

参加人員はどのくらい集めたいとか、今年の規模はどれくらいか。

【提案者】

200人ぐらい。

【高橋日出男委員】

4トントラックのステージとか、草を刈った牧草地の会場となっているが、200から300人集まったときの、トイレとか雨天の場合などの設営にこれ以外のお金がかかることも想定される。その辺について詳細な説明が聞きたい。

【橋本センター長】

提案者に回答を求める。

【提案者】

去年は100人ほどの人が来てくれたが、大雨になり小学校の運動会で使うようなテントを2～3張り借りてきて実施した。雨で帰った方もいたので、何とかブルーシートで囲ったテントに収まった。荒天の場合は目の前にある公民館とその庭を利用して行う。トイレは公民館のトイレを利用する予定。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【山口委員】

最近、若い世代が農村集落で始めて、最初は小さくても段々規模が大きくなって地域に貢献している例が非常に多く、支援事業には良いと思う。これからどのように拡大し、また継続していくためにどのようなことを考えているのか。

【提案者】

今年度は、協力金として気持ちを置いて行ってもらえるようなことを考えている。まずはフリーで、祭りのつもりで足を運んでもらい、イベントの常連さんになっていただきたい。今は持ち出しは多いが、いずれは入場料とか販売などで自立していけたらと思っている。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【石黒委員】

(6) 次年度以降の活動の見通しに、小滝集落の世帯数の半数以上とあるが、世帯数はどのくらいか。

【提案者】

現在22世帯である。

【石黒委員】

10戸前後が半数ということになる。

それと、支出の部で公演、司会者、謝礼は7万円とある。どのような方が来られるかわからないが、少し高いような気がするがいかがか。

【提案者】

本人から見積もりを取り、公演する時の相場から出してもらった金額である。プロの活動者3名でそれぞれ相場が違い、この方はこの金額だった。

【石黒委員】

この方にこだわった理由は何か。

【提案者】

プロは準備も時間をかけ、当日も一日費やすことになる。自分自身も音楽をやるが、高くはないと思う。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【山崎委員】

容れこみ人数は200人くらいで継続したいとのことだが、私もどんどん育って行ってほしいと思う。そのために、候補について今年度の段取りや考えを聞かせてほしい。

【提案者】

うまく答えられないが、例えば7万円の謝礼は自分たちだけでは払えない。プロの音響や設備もお金がかかる。しかし、できるだけ自分たちの力で毎年継続していきたい。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【上野委員】

昨年も出た演奏者はどれくらいか。

【提案者】

現時点では4組である。

【上野委員】

殆ど上越市内の方か。

【提案者】

その4組はそうである。

【上野委員】

その方たちは昨年も経験したわけだが、どのくらいの熱意でやろうとしているのか。

【提案者】

昨年の4組の出演者は農業をしながら音楽活動をしている。農業を基盤とした土臭い音楽を発表、表現したい。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【竹内委員】

成功することを祈っているが、22世帯だけではなく、金谷地区全体の住民のために恩恵のある事業なのか聞きたい。

【提案者】

黒田小学校区の子供たちと合唱バンドを編成し演奏する予定。小滝だけでなく、上越地域全体からいろいろな方が御協力してくれる予定で、そうした方々を通じて、興味のある方に楽しんでいただけたらと思っている。

【橋本センター長】

質疑・応答を終了。

— 提案者退席 —

採点を委員に依頼。

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.3「小滝牧草Live事業」の採点を終了。

続いて整理No.4「中ノ俣冬期昼食会実施事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【橋本センター長】

提案者の説明について質疑を求める。

【石川委員】

その前に、35個は最低限の数での申請だと思う。この事業は私も知っているが、団体が入ると40個ぐらい必要な時がある。皆さんの了解が得られれば、弁当箱を42～43個にして申請しなおしてもらってはどうか。

【橋本センター長】

金谷区のルールなので、協議会としてどう扱うか整理をしたいと思うがどうか。

【吉越委員】

35では足りないので、40～50に数字を上げて、話を進めていいと思う。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【小池委員】

いま言われたように、50とか60で出しなおしてもらったらいかがか。

【橋本センター長】

どの段階での申請か。

【小池委員】

2次募集で。

【石川委員】

お弁当の数が35ではぎりぎりだと思うことから数をちょっと増やした申請により、そのうえで採点すれば話が進むと思うがどうか。

【市村委員】

小池委員のおっしゃるとおりだと思うが、数字を読み替えて内容を検討し、問題なければこのまま協議を進めたほうが時間的ロスが少ない。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【市村委員】

数を増やして審査を進めれば良いと思う。

【橋本センター長】

皆さんの提案を整理すれば、一つは、数量を増やした内容で審査していただく。もう一つは、二次募集に出しなおしていただくということになる。

どちらかで皆さんの判断を仰ぐこととし、挙手で採決をとることで委員全員の了解を得る。前者に賛成の方に挙手を求める。

(14名挙手)

過半数のため、前者で処理することに決し審査を進める。

事業内容について質疑を求める。

【山崎委員】

高齢者の栄養失調、うつ、認知症の悪化と書いてあるが、現時点で集落全体ではこれらが進んでいるのか、それとも今後あり得るからこの事業をやろうとしているのかが1点目。

2点目は、支出は弁当箱代のみで、調理の材料は地産地消ということで、地元でとれたものを調理するという理解で良いか。

【橋本センター長】

提案者に回答を求める。

【提案者】

1点目は、現場にいと、うつや体に不調がある方は、現状として進んでいるという認識でいる。年齢からこれらが進むのは仕方ないし、どのくらいの効果があるか判断は難しいが、少しでも食い止められればと思いである。

2点目の材料については、参加者から500円の受益者負担をいただき、地元の食材のほか、地元で足りない肉や調味料や、いろいろなラップなど消耗品を賄う。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【高橋日出男委員】

1ページの活動分野、該当する活動に記載した印について説明願いたい。

【提案者】

申請した事業だけでなく、かみえちご山里ファン倶楽部では、中山間地域全体を活動範囲としており、社会教育、子どもたちの教育や地元の方たちから学ぶ事業や、まちづくりほか地域支援事業も行っており、芸術文化では一流の芸術活動を地域に持ってこようと佐渡の鼓童文化財団の方たちや能生の二代目高橋竹山さん呼んだコンサートを行ったりしている。地域の安全を図るために、行事、イベント時に交通整理なども行っている。経済活動の活性化を図る活動は、かみえちご山里ファン倶楽部自体が経済的に自立できるよう地元の食材の加工販売を行ったり、全国から人を集め体験授業を行うようなことをしている。そういうことからたくさん印をつけた。

【高橋日出男委員】

分かりました。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【竹内委員】

金谷区では、このような事業を各町内会や社会福祉協議会でやっているが、皆さんの事業を進めるうえで町内も関わっているのかどうか。また、金額的にちょっと高いと思うが、地元で野菜を買って使うのか。

【提案者】

地元の野菜は買い取りをしているが、支払った以上にたくさんいただいている。うちの団体が主体でやっているが、他の地域行事と重ならないよう調整している。今回は社会福祉協議会との協議で、日程や内容等、お互いに協力できないかお話をいただいている。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【市村委員】

プラスチックの弁当箱のようでは食欲もわかなくなる、見た目の可愛いデザインとか考えているか。

【提案者】

デザインのいいものは値段が高く、今回は地味なものだが、食材が映えるもの
を考えている。見て美味しいと思えるようメニューに工夫をこらしている。

【市村委員】

了解。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【山崎委員】

高齢者相手が良い事業だと思う。実施期間が11月～翌年の3月までの冬期限定
であり、通年やっていたら高齢者も喜ぶのではないかと思うが、今後の展開
について聞きたい。

【提案者】

希望があれば通年でとも考えている。現時点で参加者からは、農繁期は他の行事
等で忙しく、冬場は心にゆとりがあり参加しやすいという意見もいただいている。

常に聞き取り調査を行っており、この時期にという声があれば対応できるように
したい。

【橋本センター長】

他に質疑を求めるがなし。

— 提案者退席 —

採点を委員に依頼。

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.4「中ノ俣冬期昼食会実施事業」の採点を終了

続いて整理No.6「黒田小学校区チャレンジ夏祭り・冬祭り事業」について、提案
者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【橋本センター長】

提案説明について質疑を求める。

【石川委員】

とても良い活動だと思う。ぜひ続けてほしい。大型テントは2間、4間ですごく大きいけど、大風が吹いたような話もあったけど安全性はどうなのか。

【提案者】

業者の話では、土のう袋を各支柱にぶらさげて安定感を図るということだった。2張りあるので単管でつなぎ、重しをのせて安定させようと考えている。

【石川委員】

安全を十二分に図ってやっていただきたい。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【小池委員】

無地のテントか。

【提案者】

無地である。

【小池委員】

何も書いてないということか。

【提案者】

そうである。

【小池委員】

管理の方法は、格納する場所のことしか書いてないけど、メンテナンスはどういう形でやる予定か。

【提案者】

修理は業者さんに依頼する。当会は地域から集めた活動費で年間約38万円くらいだが、その中の看板の修繕費約5万円から修繕していきたい。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

— 提案者はそのまま —

採点を委員に依頼。

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.6「黒田小学校区チャレンジ夏祭り・冬祭り事業」の採点を終了。

続いて整理No.7「黒田小学校区風神太鼓振興会事業」について、提案者に説明を
求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【橋本センター長】

提案説明について質疑を求める。

【高橋日出男委員】

太鼓はどのように叩くのか。

【提案者】

下打ちと上打ちの2つのパートがあり、下のほうを叩いてるところに上打ちを乗
せるが、両側から叩くので、1基あれば一つの曲目ができる。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【石川委員】

太鼓は1基で両側を叩くということは分かったが、もっと小さい太鼓などはない
のか。何名かで、この1基だけで風神太鼓を完成させているのか。

【提案者】

最低1基だが、大勢の子どもたちがやるので、学校にある小太鼓で下打ちをして、
こちらで上打ちする。今までは借りてきていたので、2～3基でやっていた。

【石川委員】

一回の演奏に何人携わるのか。

【提案者】

基本的には二人でやる。

【石川委員】

大きい太鼓を二人で打って、周りの小さい太鼓を皆で演奏するということか。

【提案者】

そうでなく、一つの太鼓の両面で違う打ち方をして、どんどん人が変わっていく

スタイル。

【橋本センター長】

他に質疑を求めるがなし。

— 提案者退席 —

採点を委員に依頼。

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.7「黒田小学校区風神太鼓振興会事業」の採点を終了。

— 休憩 —

整理No.1「正善寺ダム周辺のアジサイの維持管理及び水質保全と環境美化事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【橋本センター長】

提案説明について質疑を求める。

【小池委員】

管理しているアジサイはどのくらいの株数か。アジサイは自生したものか、それとも植えられたものか。植えてある部分は民地と公有地どちらが多いか。

【橋本センター長】

提案者に回答を求める。

【提案者】

ダム周辺の株数は約3千本で、我々が実際手入れを行うのは1千～1千500本くらい。残りの周辺駐車場の反対側は手入れが届かず、荒れ放題になっている。

県道沿い、通称アジサイロードの部分は下正善寺からダムの管理棟まで約900本植えられている。紫陽花会が管理しているのは中正善寺からダム周辺まで、沿道が約400本、ダム周辺が1千500本くらいである。

県道は、県の許可を得て植栽を始めた。当初は市の補助事業として始めたが、アジサイロードとしては完全ではなく、その後沿線の上正善寺、中正善寺、下正善寺、宇津尾の4町内会が不足部分を単独で300～400本補植し、今のアジサイロー

ドになっている。途中で枯れてなくなったところにも捕植している。

民地か公有地化という、ほとんどがダム地域内で公有地ということになる。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【石川委員】

アジサイは花摘みをやれば囲いをしなくても素晴らしくなるので、冬囲いは無駄ではないか。川向こうがダメになったというのは、冬囲いをしないからではなく、日影のせいだと思う。冬囲いの手間を剪定作業にあてたら素晴らしくなると思う。

また、新しい品種のアジサイを植えているのか聞きたい。

【提案者】

手が回らず冬囲いをしなかった年があったが、冬期の県道除雪で囲いをしていないところは折れたり寝てしまい見てくれが悪くなってしまった。一昨年からは全て冬囲いを実施している。1本1本剪定をすれば素晴らしい花が咲くだろうが、ダムの完成時の植栽で老木となっており、アジサイの更新のために、老木を撤去して新しい根を育てる形の剪定しかできない。

ご存じのとおり、色が偏り過ぎる傾向があるが、ホームセンターなどで販売している色が非常にあざやかな新しいアジサイは、一鉢3千円くらいで手が出ないが、たまに会員が買ってきた新しい品種を挿し木で増やし、枯れて出てこないところに植える努力をしている。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【高橋日出男委員】

現状での管理が精一杯のように聞こえる。仕事内容に対し構成員が少な過ぎるようだが、ボランティアを募るなど構成員を増やしながら、今以上にきれいな花を觀賞できるよう努力を続けていただきたい。

【橋本センター長】

提案者に回答求める。

【提案者】

昨年、市民プラザのボランティアセンターでボランティアの募集をしたが、ほとんど集まらなかった。団地等で家を建てた三十代から四十代の町内出身者に参加依頼したが、ここ2年間で参加者は2名だけであった。

定年退職者をあてにしているが、雇用延長などでなかなか集まらない。町内の人が高齢化で草刈りなどできないということで、老人会に剪定を声かけしているが集まらない。そうは言っても努力して協力者を増やすようみんなと相談していく。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【石川委員】

ボランティアは難しそうだが、オーナー制度を考えたらどうか。例えば、杭に名前でも書いてもらえば責任をもって管理する人が増えるのではないか。

【提案者】

7～8年前にオーナー制度実施の動きがあり、小学生が総合学習でダムを訪れたときに100円でオーナーにならないかという話をしたことがある。名前を付けて、手入れは私たちがやることであったが、これがよくなかったのかもしれない。なかなか集まらなかった。また検討したい。

【石川委員】

手入れはオーナーにやらせればよい。

【橋本センター長】

他に質疑を求めるがなし。

— 提案者退席 —

採点を委員に依頼。

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.1「正善寺ダム周辺のアジサイ維持管理及び水質保全と環境美化事業」の採点を終了。

続いて整理No.9「金谷山ホテルの里 環境・教育・福祉・PR活動事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【橋本センター長】

提案説明について質疑を求める。

【石黒委員】

期間中はどれくらいの鑑賞者が来るか。

【提案者】

一シーズンの10日間鑑賞期間を設け、夜間なのでカウントは難しいが、約3千人～4千人。それ以外の期間にも大人から子どもまで結構来ている。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【山崎委員】

現場はきれいに整備されているが、その反面、もう少し地域の方に知ってもらおうとする姿勢が足りないのではないか。昨年もPR活動について話をしたが、例えば、近隣町内会に「今ホタルが見れますよ」といった回覧板の手当てなどもどうかと思うが。

【提案者】

そのとおりだと思う。お祭りは最後にして、先ず、環境、教育、福祉の三本立てで、PRも大事だと思う。昨年、山麓線の金谷山入口にホタルの里の見ごろの日付を入れた案内看板を付けた。町内へのホタルの見ごろのチラシも今年計画したい。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【石川委員】

地元でコンクリートがないからホタルが見られるとの説明を聞いたことがある。ホタル飼育水路沈殿槽設置工事とあるが、素人考えで、コンクリートを設置することによりホタルが消滅しかねないのではないか。

【提案者】

ホタルは三面護岸でも飛ぶ。そこは金谷山の土砂の堆積が凄く、その堆積を利用して、川の土手や広場を造ったりしたが、堆積した土砂を升を造って止めて再利用し

ようという考えを以前から持っており提案した。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【石川委員】

そんなに大変だとすぐ埋まるのではないか。これがあることによって違のか。

【提案者】

土砂が溜まると、カワニナが育たなくなる。ケイソウとかも育たないので、土砂が止まっていてくれることと、川の手入れ、草刈も大切である。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【高橋日出男委員】

ホタルを見に来られる方々に、管理上これだけはやめてほしいこととかあるか。

【提案者】

たくさんある。安心して観賞できるよう、足元にソーラーライトを付けているが、懐中電灯の強い明かりを消してもらい、ホタルを捕まえない、カメラのフラッシュは一瞬でホタルが光らなくなるので焚かないなどで、ここにも注意事項で謳わせてもらった。

【橋本センター長】

他に質疑を求めるがなし。

— 提案者退席 —

採点を委員に依頼。

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.9「金谷山ホタルの里 環境・教育・福祉・PR活動事業」の採点を終了。

続いて整理No.8「金谷山活性化のため会津墓地等歴史文化の継承を支援する事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【橋本センター長】

提案説明について質疑を求める。

【山崎委員】

草花だけでは寂しい。今年はレンギョウもアジサイも咲くであろうとの話なので、桜やミズキなどの花の咲く木を植えることも土地の立地条件から可能ということか。

【提案者】

一昨年、桜、山桜、枝垂れ桜、それぞれ4本植えて花が咲いた。1mのさるすべりも植えたが、順調に育てば花が咲くと考えている。草花では昨年の暮れに水仙を10株植え、今年花が咲いた。来年以降も花が咲くと考える。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【石川委員】

花苗等の購入費用が随分高いと思ったが、プランターのほか、花木の苗木もここから買っているということか。

【提案者】

取りあえず草花で考えている。プランターを一昨年、昨年それぞれ50個購入したが、雪のため10個潰れたため、もう10個増やしたい。

【石川委員】

プランターは管理が大変だが、水やりなどの設備とか世話をする人は何人かいるのか。

【提案者】

町内でローテーションを組み、早朝水やりをした。昨年は90日、今年は天候次第で今のとことまだ不明。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【樋口委員】

会津墓地の横から臥蛇池の上の辺りをもう少しきれいにすればもっと人が来るのではないか。また、最近できた老健施設とタイアップした形はとれないのか。

【提案者】

特段、話はしていないが、その施設では赤道（あかみち）にツツジを植えてくれた。その施設から先は整備が行き届かない部分があるが、草刈り等で対応していきたい。

【橋本センター長】

他に質疑を求めるがなし。

— 提案者退席 —

採点を委員に依頼。

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No. 8 「金谷山活性化のため会津墓地等歴史文化の継承を支援する事業」の採点を終了。

続いて整理No. 2 「滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【橋本センター長】

提案説明について質疑を求める。

【川住副会長】

カラーコピー代100円×960枚、ほかにインク代、これはどこで印刷するのか。

【提案者】

コンビニでやっているが、時間がないときは他の会社でコピー機を借りてやっている。

【川住副会長】

1枚100円というのはどうか。

【提案者】

高いと思うが、両面コピーである。部数は920枚で、回覧は年に10回、全戸配布を年2回行う考えである。

【川住副会長】

町内に配る部数はいいが、コンビニで1枚100円のコピーというのは高い気がする。これは見積もりの結果か。

【提案者】

これは一度に印刷するのではなく、原稿を持参して小銭を入れながらコピーするので、見積もりはない。

【川住副会長】

コンビニでコピーするのにインク代が別にかかるのはどうしてか。

【提案者】

インク代は原本を出すため、他に町内会館展示用も出す。

【川住副会長】

いずれにしても原本と町内に貼り出すインク代が2万5,000円というのはかなりの枚数印刷できる金額で、本当にこれだけ必要なのか。

【提案者】

何とも言えないが、今まではボランティアで、金額的なものはインク代まで含めて計上していなかったため、2万5,000円が妥当かどうか定かではない。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【山崎委員】

支出の④の項目で、町内グラウンドの維持管理と活用4万500円、除草、肥料、燃料、ソフトボール大会の経費、町内会の会計で賄われないのか。町内会単独のような感じを受ける。

【提案者】

ソフトボール大会の経費はそうかもしれないが、場所的に愛の風と隣接しているため、片方やってもう片方はそのままにしておくというのは外見上難しい。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【高橋敏光委員】

滝寺まちづくり協議会の事業ということで毘沙門堂はよく出てくるが、外部から見ると、また歴史的観点から見ると、下に立派な不動さんがあり滝がある。その言葉を今まで滝寺の住民からは一言も聞いたことがない。その辺はどうか。

【提案者】

詳しくは分からないが、不動さんの滝は氏子さんが維持管理しているため、町内、まちづくり協議会としても整備が入っていない。まちづくり協議会として入っていく関係ではないと考える。

【高橋敏光委員】

氏子さんの歴史的なことは細かく調べてないが、氏子さんは1～2人しかいないらしい。滝寺まちづくり協議会とか、町内で引き受けることなど考えているか。

【提案者】

個人的には、その前の道までしか考えてない。参道の入り口は毘沙門堂が繋がっているのですこら辺はやっている。ただ、昔、水があふれて大変なことがあったとき、滝寺町内会として整備したのは事実。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【高橋日出男委員】

山崎委員からも御質問があったが、「町民グラウンドの維持管理と活用」はどう見ても町内会の運営事業の一つではないかと判断している。

それと、5、6月に一回の整備・維持管理を行っていることになっているが、このグラウンドを1回5人で整備できるのか。先ほど愛の風と隣接しているため放置できないと言われたが、そのために引き合いに出したとしか理解できないが、言い過ぎか。

【提案者】

町民だけが活用しているのではなく、今、飯小学校のグラウンドが使えない状態なので、あそこで球を投げて体力測定をやったりしている。整備は5人とあるが、金額的に計上されていないが、具体的には草刈機が何回も入っている。春先は除草剤で押さえて、夏過ぎると草刈りをしたり、飯小学校からも応援してもらって草刈

りをしている。

【高橋日出男委員】

説明では分かったが、なぜそのように書かないのか。

【提案者】

去年の結果概要書には活用状態が分かるように、飯小学校へ貸し出したと報告した。

【高橋日出男委員】

過去の経緯を問いかけているのではなく、これだけの人数でグラウンドを維持管理できるのかということ。愛の風を引き合いに出して、放置できないからと説明されたが、不自然な説明ではないかということを知っている。

【提案者】

何と答えてよいか分からないが、書き方として雑だったかもしれない。ただ、まちづくり協議会自体も仕事はいろいろあり、愛の風を主にやって隣接しているグラウンドも一緒にやる状態もある。

【高橋日出男委員】

すっきりしないが、よい。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【竹内委員】

滝寺のミズバショウを含めて金谷山までふるさと道として道路が整備されている。この間の金谷山の観光協会の話では、それぞれの管理を別々にやっているとのことだが、観光のしおりやチラシを作るときに三つまとめて、「ふるさと道にはこんな観光地がありますよ。」というようなことを考えているか。

【提案者】

ミズバショウの群生地を二つ持っているが、どちらかというところ、主に見えるところはあまり手入れが入っていない。ふるさと道に関する測量の草刈りはするが、そこまで入った草刈はしていない。今のところ連携したマップ作成にまで発展した考えを持っていない。

【橋本センター長】

他に質疑を求めるがなし。

— 提案者退席 —

採点を委員に依頼。

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.2「滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動事業」の採点を終了。

続いて整理No.5「金谷山太鼓 継承・振興事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

— 事業概要に基づき説明 —

【橋本センター長】

提案説明について質疑を求める。

【石川委員】

金谷山太鼓で使う太鼓の種類と数はいくつぐらいあるか。

【提案者】

宮太鼓という大きな太鼓が3台。別に破損が激しく、復刻しなければならないものが1台あるが、今回は挙げていない。他に5台の締太鼓があり、うち2台は一昨年この支援を受けて直し、今年もう2台の皮張りを支援いただきたい。味噌樽の樽太鼓は35～36台あり、叩きで板が割れ、一番消耗が激しい。太鼓と呼ばれるもの以外では、チャンチキやチャップとか、竹を叩いたりするものもある。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【山崎委員】

会計を見ると、太鼓の修繕で占めているが、幟もだいぶくたびれてきた感じを受けている。学校としては、そういうものも補充してかなければならないと考えているか、当分いいと考えているか。

【提案者】

後援会の事業として経費を支出しているところがあり、そこで幟やバチを買うな

ど自分たちでできるところは自分たちでやりたいと思う。自分たちで及ばない部分を支援いただきたい。

【橋本センター長】

他に質疑を求める。

【樋口委員】

後援会の予算から金谷山太鼓の経費を負担しているとのことだが、後援会の予算はどのくらいか。

【提案者】

各町内会から1世帯400円、2,300～2,400世帯で合計92～93万円の予算である。この中から太鼓と金管鼓隊の整備で半分ちょっとを支出、他に図書費、研究費やいろいろな消耗品等に使っている。

【小池委員】

後援会の参加町内はどこか。

【提案者】

南本町小学校、大手町小学校が分離独立して昭和48年にできた。本来なら南本町小学校区にあった中通町等7ヶ町内、中通町、神山、金谷、寺町1～2丁目、大貫、平山の7町内会が高田西小学校後援会に入っている。

【橋本センター長】

他に質疑を求めるがなし。

— 提案者退席 —

採点を委員に依頼。

— 採点シート 採点・回収・集計 —

整理No.5「金谷山太鼓 継承・振興事業」の採点を終了。

— 30分休憩 —

【橋本センター長】

— 採点結果を説明 —

- ・基本審査において、委員の過半数が「不適合」とした事業なし。
- ・共通審査において、獲得点数が全委員16名の満点である400点の半数に満たない事業：整理No.10「金谷区（灰塚駐在管内）の交通安全のためのカーブミラー設置事業」は採点ルール上失格。
- ・失格分を含めての配分残額：565万円
採点結果に基づき「採択審査」の進行を田村会長に求める。

【田村会長】

- ・基本審査で不採択となる事業はないことについて、委員全員の上承を得る。
- ・共通審査で総得点数が満点の半数未満となった事業は不採択であることから、事業番号No.10は不採択となることについて、委員全員の上承を得る。
- ・減額すべきとする経費について、委員に意見を求める。

【川住副会長】

のコンビニでコピー代1枚100円という金額はないと思う。金額を確認し減額対象にするのが正しいのではないか。

インク代の2万5,000円はどこから持ってきているのかとを感じる。

ソフトボール大会等この事業に関係ないものがここに含まれているのはおかしいのではないか。

この3点は減額対象と感じている。

【田村会長】

他に質疑を求める。

【石川委員】

この事業について、カラーコピーにする必要はないと思う。白黒にしてほしい。

【田村会長】

他に質疑を求める。

【山崎委員】

同じように、④の町内グラウンドの維持費4万500円も特定の町内会の経費になるのではないか。考えたほうがよい。

【田村会長】

他に質疑を求めるがなし。

整理No.2について、確認すべき意見の整理を事務局に求める。

【橋本センター長】

- ・町内グラウンドの維持費用4万5000円の削除
- ・「やまぼうし」のインク代2万5,000円の減額
- ・カラーコピー代金については白黒で、実際の金額を確認したうえで減額する。

【田村会長】

カラーコピーの関係と白黒にするかと、グラウンドの関係について委員から意見を求める。

コピー代についてはどうか。

【石川委員】

コピーは分かるが、カラーコピーは贅沢だと思う。カラーにしたければ町内のお金でやってほしい。

【田村会長】

カラーコピーは白黒コピーとすることで委員全員の了承を得る。

町民グラウンドの維持管理経費について意見を求める。

【山崎委員】

町民グラウンドとなっており、町内固有の持ち物で、その敷地内の除草費であれば当然町内が賄うべきだと思う。その下のソフトボール大会の経費も町内で賄うべき。

【田村会長】

他に質疑を求める。

【石川委員】

⑤のきのこ栽培と試食会は40人とあるが、私の経験では50人分で5,000円あれば足りる。しかも、きのこは自前だと思う。きのこ自前で2万円は高すぎる。

【田村会長】

皆さん町内の運営等をやっているから大体の見当はつくと思うが。

【高宮副会長】

町内回覧の場合、白黒の文書でははっきりしない。城北中学校の学校だよりでもカラーコピーされており鮮明である。カラーコピーは大切であり、それには100円の代金の折衝がなっていないと思う。

【田村会長】

それについては先ほど整理し、白黒でやってくださいと決まった。

【高宮副会長】

インク代はパソコンでやれば2万5,000円も掛からない。予算の出し方がおかしい。でも事務局では見積もりをいただいているわけであるから。

【橋本センター長】

10万円以下は見積もりを出さなくてもよいことになっている。

【石黒委員】

フルカラーでコピーすると100円になる。

【山崎委員】

これを見ると、全てにおいてだいぶアバウトだなという感じを受ける。

【高宮副会長】

私もそう思う。10万円以下は見積もりを貰わないということだが、きちんと見てほしい。

【田村会長】

カラーコピーにはしないことで確認しているので、それで整理したい。

ソフトボールの関係、これは町内会費として整理していただくという形でどうか。

【高宮副会長】

ちょっと待ってほしい。滝寺の地元の上野委員、説明してはどうか。町内経費ではなく、地域協議会支援事業として出した理由があると思う。これは町内だからという言い方はないと思う。

【上野委員】

私の立場としては、一委員としてここへ来ているので御容赦願いたい。

【田村会長】

委員の意見であって、町内からどうこうではないのではないのか。

【高宮副会長】

いやいや、町内会長やっているから。

【橋本センター長】

事務局から整理させていただきたい。協議会としてどのように整理するかということである。事務局では予備チェックはしているが、この金額が必要という提案ならば、一応受付をする。その先の市民感覚でどうか等については協議会で協議をいただく。実情としての意見があると思うし、実体感での金額の多寡もあると思う。その辺はこの協議会としてまとめていただいて、結論として提案者に提示するのでその議論をいただきたい。

【田村会長】

質疑を求める。

【山下委員】

先ほどの山崎委員の意見に賛同する。町内で負担してもらい、申請の減額をしてもらいたい。

【田村会長】

他に質疑を求める。

【竹内委員】

まちづくり協議会の活動の中に町民グラウンドの整備も入っていれば、そうも言えないのかなと思う。ミズバショウだけをやる組織ではなく、グラウンド整備もまちづくり協議会の仕事の一つということで申し込んできたとすれば、該当するようにも思える。まちづくり協議会の活動の中にグラウンド整備が入っていれば、不思議ではないと感じる。

【田村会長】

貴重な御意見をもらったが、皆さんの御意見をいただきたい。

【上野委員】

本人に直接聞いてほしい。それなりの答えが返ってくると思う。

【田村会長】

本人に聞くのはいいが、今ここで整理したい。皆さんに聞きたい。

【上野委員】

竹内委員の意見のとおり、その辺確認して減額の範囲を決めてもらうのはどうか。今のまちづくり協議会としてグラウンドの管理をしているかどうか聞けばいいし、ソフトボール大会を運営しているかも確認していただければよいと思う。

【田村会長】

他に質疑を求める。

【川住副会長】

事業名称が「滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動事業」となっており、これに係る費用なら認めてよいと思う。提案者が町内に係るものと区分けして出してもらわないとこのような事態に陥る。提案者からしっかり区分してもらわないと減額は難しい。区分してもらったうえで、町内の分は自主的に取り下げてもらうことが必要。

【田村会長】

目的に沿った予算が組まれていれば皆さんに納得して貰えると思うが、あいまいなところがある。

提案者から説明を聞いて、確認できた場合は認める、そうでなければカットすることで委員全員の了承を得る。

他に質疑を求める。

【石川委員】

きのこ汁で2万円の領収証は持って来れないと思う。余ったら返還してもらえばよい。

【田村会長】

今の件について、事務局で整理し、まちづくりに合致するならよいのではないか。

【石川委員】

私が言いたいのは、40人分の材料費でそんなに掛かるはずがないので、材料費の領収書で余った分は返してほしいということである。

【橋本センター長】

事務の取り扱いについて説明したい。きのこの試食会は予算として

4万3,500円で提案されているが、実際には事業実施後に、こうした食材も含めて領収書を実績報告で出してもらっている。で、その実績を事務局で確認、受理して皆さんに御報告する。当然、精算ということで使わなかったものは補助しない取扱いになっている。

【田村会長】

領収書を確認し整理することで委員全員の了承を得る。

【橋本センター長】

町民グラウンドを補助事業として認めるかどうかについてはどう進めるか。

【石川委員】

滝寺自然公園整備と環境保全保護活動ということなので、町民グラウンドの維持管理は入らないことを確認して、提案者に申し入れしたらどうか。納得できる理由があれば別だが。

【橋本センター長】

納得できる理由があればとのことだが、いつ、誰が判断するのか確認したかった。基本的には協議会の皆さんの判断になる。

【田村会長】

委員としてどういう判断をするかということだが。

【石黒委員】

町民グラウンドということで、町内会が全く関わらないということはありません。趣旨に合わないので、4万500円は落としてもよい経費だと思う。

【田村会長】

石黒委員の御意見に対して委員の賛否を求める。

(賛成の声あり)

協議会として4万500円は経費に含まないと判断することで委員全員の承認を得る。

他に質疑を求める。

【橋本センター長】

インク代はどうするか。

【田村会長】

カラーコピーをやめて、12万1,000円の中で白黒でやってもらう整理でいたがどうか。

【石黒委員】

私は、インク代を復活して、コピー代も含めて2万5,000円で「やまぼうし」を発行すればよいと思う。

インク代は6色セットで6,000円くらいであり、1年間は十分持つと思う。コピー代の1枚10円も含めて、インク代として2万5,000円をあげておいたほうがいいのではないかと思う。

【田村会長】

他に質疑を求める。

【石川委員】

そうすると、⑤のきのこのチラシ印刷もこのインク代で十分賄えるのではないか。
（「やまぼうし」の発行と違うとの発言多数）
そこまで考えたら駄目か。

【田村会長】

それでは、「やまぼうし」の発行はカラーコピーで良いということによいのか。

【石黒委員】

「やまぼうし」は白黒でいいのではないか。

【田村会長】

「やまぼうし」については、12万1,000円の中で、白黒で発行するという
ことで良いか。

【石黒委員】

私が言ったのは、カラーコピーとか白黒とかは任せるとして、インク代としての
2万5,000円で「やまぼうし」を発行するのでよいと思っている。

【川住副会長】

先ほどの説明では、コンビニでコピーすることだったので、コピー代は白黒
1枚10円で9,600円で足りると思う。そうすると、インク代の

2万5,000円は原稿を作るためと思うが、これは他の事務経費として扱うべきであって、ここに乘せるべきでない。原稿はせいぜい1～2枚で、それは事務全般の経費の中で賄えると思う。

【橋本センター長】

今調べたところ、市内コンビニでは、白黒コピーはA4判で税込1枚10円。カラーコピーはA4判で50円、A3判で80円。だから、カラーA4判で裏表コピーでは100円となる。「やまぼうし」の申請内容はA4裏表となっている。

【石川委員】

今はっきりしたので、白黒コピー代、裏表で9,600円の2倍で1万9,200円。経験者によると、これで十分カラーもできるとのことで、やり繰りしていただき、1万9,200円で良いのではないか。

【田村会長】

町民グラウンドの4万500円と、「やまぼうし」発行で1万9,200円を差し引いた10万1,800円分をカットするというので整理してよいか。

【樋口委員】

減額された後の総予算の中で、他の予算を削ってでもカラーコピーすることは許されるのか。

【橋本センター長】

事業を進めていく中で、当然項目ごとの出入りはあるので、予算どおり決算というわけにいかない。予算で予定した白黒をカラーに変更することはあり得る。実質的な効果の見込みがあれば予算の範囲で変更も認められる。大きな金額を変更する場合は変更申請書を市に提出してもらい、委員にも報告している。審議の中で「やまぼうし」は白黒でやるよう委員から意見が出たということであれば、提案者に提示し事業を進めていただく。

【田村会長】

先ほど整理した内容で進めていきたい。

(よしの声あり)

他に質疑を求めるがなし。

予算ボーダーラインより上の9事業まで採択することで委員全員の了承を得る。
提案者に対する付帯意見があるか委員に確認を求めるがなし。

事務局にここまでの整理を求める。

【橋本センター長】

最終的な採択結果について確認。

整理No.10「金谷区(灰塚駐在管内)の交通安全のためのカーブミラー設置事業」は総得点が委員の満点の半数に満たなかったため失格。これ以外は採択事業として認める。

それぞれの経費について、整理No.2「滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動事業」のグラウンドの維持管理費の4万500円は経費として認めない。

まちづくり活動通信「やまぼうし」の発行について、事業費を越えなければカラーコピーにすることは構わないが、敢えて白黒にすることにするのか、1万9,200円の中でできるならよいとするか。

【石黒委員】

できるなら、任せたほうがいい。

【橋本センター長】

1万9,200円をお願いする旨を確認。

配分予算残額(整理後)6,075,000円。

【田村会長】

センター長の説明に対して、質疑応答を求めるがなし。

残額について、今後追加募集をするかどうかについて協議。

【吉越委員】

この補助金の活用として聞いた中で、金谷区にある約1,000灯の街灯を、例えば3年とか5年越しで、毎年200万円とか300万円でLED電球に替えていけば全部の地域に公平にお金が回るのではないかということがある。今回、残額があったので話させてもらったが、そうした何年越しの地区の計画があってもいいのではないか。

【田村会長】

追加募集を行うかどうか意見を求める。

【高橋敏光委員】

追加募集をやってほしい。

【田村会長】

追加募集をすることで委員全員の了解を得る。

吉越委員の話も含め質疑を求める。

【石川委員】

この残額を繰り越すことはできないため、何年に分割することはできない。それぞれの地域で要求するかは分からないが、出していただいたらどうか。

【吉越委員】

地域全体で平均して整備していくということではどうか。

【石川委員】

5年支援事業が続くか分からないので、1回で全地域でやったらどうか。

【田村会長】

追加募集の実施について、事務局に整理を求める。

【橋本センター長】

追加募集を決定したが、追加募集の要項は当初の募集と同じでよいか、募集期間をいつにするかを定める必要がある。

LEDについて、現在の募集要項にはLEDは駄目という決まりがないため、提案があれば審査の土俵に上がる。因みに、高田区のように、募集要項でLEDは認めないという条件をつけているところもあれば、金谷区のように募集条件にしていなくてもある。事務局への事前相談でも課題としてあがっていたことは、各町内バラバラで申請し、予算的に全部賄うことができない場合は、申請内容は変わらないにもかかわらず、どこかが採択され、どこかが落ち不合理な結果となる。実際提案されている例では、申請者がいろいろ工夫をされているようだ。例えば金谷区でそれぞれ提案をした場合、逆に地域間でのトラブルにもなりかねないこともあり、金谷区での集まりか何かで、この扱いを話し合われるのもよいのではないか。

【田村会長】

具体的な募集要項や募集期間について、事務局に説明を求める。

【橋本センター長】

- ・募集要項は当初募集と同様の内容で追加募集をしてはどうか。
- ・募集期間は7月13日(月)～7月24日(金)でどうか。
- ・今後のスケジュール 審査・採択は8月の定例日の審査、9月から新しい事業を決定し、活動を進めていただけるよう進める。

【田村会長】

事務局の説明を諮り委員全員の了承を得る。

LEDの件について、質疑を求める。

【石川委員】

高田区ではどのような理由で街灯のLED化を認めないのか。

【橋本センター長】

まず、地域活動支援事業は活動に対する補助制度であり、LED灯の整備に当たっても、単純に機械機器を入れ替えることではなく、例えば夜間パトロールや防犯活動を一緒にやりながら併せて整備することを確認いただきたい。

高田区でLED化事業を対象外にした理由は、町内が連たんし、町内で面倒をみている街灯が多いため、全部整備するには莫大な資金と時間もかかり、他の活動資金も出せなくなる。また、なぜ何処かが受かり、落ちたのかという話にもなる。そうした諸々のことを考えて、それが具体化する前に募集要項でLEDを認めないことに決定した。

実は2年ほど前から検討していて、地域活動支援事業の対象としない代わりに、市はLED化の補助制度を創設すべきとして自主審議をしていたが、たまたま中郷区から同様の意見書が提出されたので、これに合わせ高田区も意見書を市に提出した経緯がある。

これを受け市では、今年度から補助額の3分の1以内、上限が1万円以内で各町内で整備するLEDについては補助するという制度を作った。

地域活動支援事業でLEDを整備するか、市のLED化の補助事業で整備するか、この2つから選択できる。

【田村会長】

次回、現状と市の取組みを含めて勉強会をやったらどうか。

【橋本センター長】

金谷区の募集要項でLEDをやらないとする場合は今決めていただきたい。

【田村会長】

募集要項は今までどおりで良いか。LEDが出て来た場合どうするかということだが。

【石黒委員】

今蛍光灯の街灯は作ってないので、多分壊れればLEDに取り替えている。本数的に御殿山や中田原が多い。

【高橋敏光委員】

LEDに取り替えても町内が得するわけではない。

【石黒委員】

市役所の電気料が安くなる。

【高橋敏光委員】

無理に替えなくてもよい。

【田村会長】

募集要項の中ではそれに触れないでよく、また、次回の協議会で現状を含めて勉強会をやるということで委員全員の了承を得る。

次第4議題（1）「平成27年度地域活動支援事業について」を終了する。

続いて次第4議題（2）「第3回地域協議会について」事務局に提案を求める。

【小林主任】

- ・金谷地区の住民の方から地域協議会を傍聴していただき、関心を持ってもらう取組
- ・金谷区を北部、中部、南部の3つのブロックに分け実施。
- ・第1回は北部で開催済み、3回は南部で出張協議会として開催予定。
- ・6月24日（水）午後6時から灰塚町内会館にて。

(内容)

- ・施設使用料減免基準の見直し説明（行政改革推進課）
- ・防犯灯LED化事業の説明（市民安全課）

（地域住民への周知）

- ・地域への呼びかけは、南部ブロックの担当委員である実施する。（川住副会長、小池委員、高橋日出男委員、山口委員、吉越委員）

【田村会長】

事務局の提案のとおり出張協議会を開催することで委員全員の上承を得る。

次第4議題（2）「第3回地域協議会について」を終了する。

続いて次第5「事務連絡」について事務局に説明を求める。

【橋本センター長】

- ・地域活動支援事業の今後のスケジュールについて、本日の採択結果を受け、速やかに補助金交付決定を行う。
- ・追加募集の募集期間は7月13日（月）～7月24日（金）。募集要項について、当初の募集要項のままで募集を行う。委員からの呼びかけ、情報提供をお願いする。
- ・地域協議会日より7月1日号を発行予定。今回の採択結果、地域活動支援事業の追加募集を含め掲載。
- ・第3回地域協議会は出張協議会として、6月24日（水）午後6時から灰塚町内会館にて開催予定。

次第5事務連絡を終了する。

【田村会長】

質疑を求める。

【石黒委員】

昨年は事前に申請して活動資金をいただいたが、今度は7月の追加募集が終わってから活動資金の申請になるか。

【橋本センター長】

補助金の申請については、事務局から採択通知を出し、その後補助金の申請書を出していただく。費用は受付が受理された時点から使うことができる。

【田村会長】

他に質疑を求めるがなし。

会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課

南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。